

外来カミキリムシから 花咲く春を^{まも}る

お花見は日本人にとって欠かせない春の風物詩です。でもそのお花見がなくなるかもしれません。外来カミキリムシが日本で急速に増殖し、サクラの仲間を枯らしているからです。しかし、その実態についてはよくわかっていませんでした。本公演では、外来カミキリムシの生態や日本での被害状況、そしてサクラを護る方法など、研究成果の最前線を紹介し、花咲く春を^{まも}るために今私たちにできることを皆さまと考えたいと思います。

2022年

6/11 (土) **龍谷大学響都ホール校友会館**
(JR京都駅八条口前アバンティ9階)

入場無料

事前申込制

13:30~16:30(開場12:30~)

講演 13:35~15:30

- ◆サクラの花がピンチです
～外来種クビアカツヤカミキリの生態

加賀谷 悦子 (森林総合研究所 森林昆虫研究領域昆虫生態研究室長)



- ◆モモの花がピンチです
～サクラとモモから羽化したクビアカツヤカミキリの比較

浦野 忠久 (森林総合研究所関西支所 生物被害研究グループ長)

- ◆サクラの花を^{まも}るために今できること
～大阪の被害状況と防除対策

山本 優一 氏 (大阪府立環境農林水産総合研究所 環境研究部自然環境グループ副主査)



質問タイム 15:45~16:30 回答者 加賀谷 悦子、浦野 忠久、山本 優一 氏

申し込み方法・お問い合わせ等、裏面をご覧ください。講演会の詳細は、下記ページをご覧ください。

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/fsm/events/20220611publiclecture.html>



【主 催】

国立研究開発法人 森林研究・整備機構

森林総合研究所関西支所

Kansai Research Center, Forestry and Forest Products Research Institute



クビアカツヤカミキリは、外来生物法に基づく特定外来生物に指定されています。



もともとは日本にいないクビアカツヤカミキリという大きなカミキリムシが、国内で相次いで見つっています。この虫はサクラやウメ・モモなどの木の幹の内側を食い荒らして、被害がひどくなると木は枯れてしまいます。

この虫を見つけたらすぐに「退治」が一番です。

写真のようなカミキリムシの成虫や、サクラなどの木からの虫のくいかす(フラス)を見つけたら、地元の自治体および森林総合研究所 (sakurakamikiri@ml.affrc.go.jp) にお知らせください。

事前申込

Eメールにて、お申し込みください。
fsm-ren@ffpri.affrc.go.jp



その際にお名前・ご所属・ご連絡先をお知らせください。

申込期限：2022年6月3日(金)※先着順

※お申込への返信を3営業日以内に送付致します。
数日経過致しましても当所からの返信がない場合は、ご入力いただいたメールアドレスに間違い、又はお客様のメールサーバーなどにより自動的に削除された可能性がございます。以上をご確認の上、お手数ですが再度お問い合わせさせていただきますようお願い申し上げます。

※頂いた個人情報はこの講演会の受付業務以外には使用しません。
感染者が発生した場合に限り、ご来場のお客様の個人情報は必要に応じて保健所等の公的機関へ提供しますので、あらかじめご了承ください。

お問合せ先



森林総合研究所関西支所 地域連携推進室

〒612-0855 京都市伏見区桃山町永井久太郎68

TEL: 075-366-9905・9902

開催会場

龍谷大学響都ホール校友会館

〒601-8003

京都府京都市南区東九条西山王町31 アバンティ9階



- 地下鉄京都駅より徒歩1分
- 近鉄京都駅より徒歩3分
- JR京都駅八条口よりすぐ
店内東側のエレベータをご利用ください。

【新型コロナウイルス感染防止のためのお願い】

新型コロナウイルス感染拡大が著しい場合は直前で中止する場合があります。

- ① 入場の際は、入場口設置の消毒液をご利用ください。
- ② 入場時に非接触型体温計を用いて体温測定を行います。
37.5℃以上の発熱があると判断した場合、入場をお断りいたしますのでご了承ください。
- ③ 会場内ではマスクを常時着用し会話は極力控えください。